

Game Report

開催場所：日本経済大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 11 月 3 日(日)

試合時間：17：20～

CC：伊藤 彰二

U1：古後 宏和

U2：野田 明男

九州共立大学	○ 5 7	15	—1st—	19	● 5 6	日本経済大学
		14	—2nd—	11		
		13	—3rd—	19		
		15	—4th—	7		

第 1 クォーター

日経大 # 4 5 山田の 3 P シュートでスタート。その後も、日経大 # 3 5 秋山も 3 P シュートを決め、好調な出だし。しかし、九共大も # 3 奥田、# 2 4 ハッサンが立て続けにジャンプシュートを決め、互いに譲らない白熱した展開が続く。中盤以降、互いに一進一退の攻防が続く。残り 1 : 3 0 からの日経大のオフェンスで、九共大 # 2 5 野口のブロックショットが炸裂し、そのまま # 1 4 田川が 3 ポイントシュートを決める。対する日経大も # 3 0 小池の 3 ポイントシュートで食らいつき、1 5 - 1 9 日経大リードで第 1 クォーターを終える。

第 2 クォーター

九共大 # 2 4 ハッサンがジャンプシュートを確実に決め、第 2 クォーターが始まる。その後、シュートを決めることが出来ない日経大に対して、九共大は激しいディフェンスから得点を重ね、# 1 4 田川がアンスポーツマンライクファウルをもらったところで、日経大はタイムアウトを請求。タイムアウト後の日経大は、# 3 0 小池の 3 P シュート、# 3 5 秋山の連続得点で立て続けに得点を重ねる。終盤、日経大は # 3 5 秋山を中心に得点し、九共大は # 2 4 ハッサンのゴール下、# 3 奥田のスティールからのレイアップなど、互いに譲らない展開が続く。しかし日経大のリードは変わらず、2 9 - 3 0 で第 2 クォーターを終える。

第 3 クォーター

序盤、両チーム互いにシュートを決めることが出来ず、第 3 クォーターがスタート。均衡を破ったのは、日経大 # 3 5 秋山のゴール下シュート。その後、九共大は激しいディフェンスから、# 1 1 久保田が 3 P シュートを決める。日経大も集中したディフェンスで食らいつく。残り 5 : 5 6、日経大のプレッシャーでディフェンスから # 3 5 秋山がダンクシュートを決め、たまた九共大はタイムアウトを請求する。その後、お互いに 3 P シュートを連続して決め、拮抗した展開が続く。終盤、互いに激しいディフェンスを継続し、点を決めることが出来ない緊張した展開が続く。4 9 - 4 2 で第 3 クォーターを終える。

第 4 クォーター

開始から第 3 クォーター同様の展開になり、均衡を破ったのは日経大 # 9 9 蔡のシュート。対する九共大も # 2 4 ハッサンのバスケットカウントで点数を重ね、互いに譲らない展開が続く。中盤以降もお互いに集中したディフェンス、リバウンドが続く。緊迫した試合展開が続く。終盤、日経大 3 点リードの展開、九共大 # 1 1 久保田がフリースローを 2 本とも決め、1 点差に縮める。点差は変わらず残り 7 . 2 秒、九共大 # 2 4 ハッサンがセットプレイからゴール下シュートを決める。残り 0 . 6 秒、タイムアウト明けの日経大のオフェンスで始まるがあと一歩及ばず、5 7 - 5 6 で共立大が九州リーグ優勝を勝利で飾った。